

■ 資料

1	策定経過.....	16
2	函館市町会アンケート.....	17
3	町会ヒアリング.....	17
4	函館市町会活性化検討会議.....	19
5	函館市町会活性化セミナー.....	22
6	町会活性化ディスカッション.....	23
7	町会一覧.....	24
8	町会区域図.....	25

1 策定経過

- 平成 31 年（2019 年）
 - 3 月 函館市町会アンケート結果報告

- 令和元年（2019 年）
 - 8 月 函館市町会活性化検討会議設置
 - 9 月～ 町会ヒアリング
 - 11 月 第 1 回函館市町会活性化検討会議の開催

- 令和 2 年（2020 年）
 - 1 月 第 2 回函館市町会活性化検討会議の開催
 - 8 月 第 3 回函館市町会活性化検討会議の開催
 - 9 月 第 4 回函館市町会活性化検討会議の開催
 - 10 月 第 5 回函館市町会活性化検討会議の開催
 - 11 月 町会活性化ディスカッションの開催
函館市町会活性化セミナーの開催

- 令和 3 年（2021 年）
 - 2 月 第 6 回函館市町会活性化検討会議の開催
函館市政策会議の開催
パブリックコメント手続きの実施
 - 3 月 パブリックコメント手続きの実施結果の公表
町会活性化に向けた基本的な方向性の策定，公表

2 函館市町会アンケート

(1) 概要

- 目的：課題や、将来の活動についての考えを把握し、今後の具体的な支援等の施策づくりに役立てるため。
- 調査期間：平成 29 年（2017 年）9 月下旬～10 月下旬
- 調査対象：函館市内 全 183 町会を対象（平成 29 年（2017 年）9 月 現在）
回収率 79.23%（145 町会から回答）
- 報告書（質問項目）：本アンケートの結果報告書は、市 HP の下記 URL を参照
《URL》<https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2018033000025/>

3 町会ヒアリング

(1) 概要

- 目的：アンケート等の書面では把握できない町会活動の実態や考えなどを把握し、今後の町会活性化へ生かすため。
- 実施期間：令和元年（2019 年）9 月～令和 2 年（2020 年）10 月
- ヒアリング実施町会 ※地域性や活動内容等を考慮し選定

No	町会名	実施日
1	函館市桔梗町会	令和元年 9 月 27 日
2	乃木町会	令和元年 10 月 10 日
3	大手町会	令和元年 10 月 11 日
4	西旭岡町会	令和元年 10 月 23 日
5	金堀広野町会	令和元年 11 月 7 日
6	人見町会	令和元年 11 月 13 日
7	日吉四丁目町会	令和元年 11 月 27 日
8	陣川あさひ町会	令和元年 12 月 10 日
9	汐首町内会	令和元年 12 月 12 日
10	石崎町会	令和元年 12 月 20 日
11	八幡町会	令和 2 年 2 月 7 日
12	北浜町会	令和 2 年 2 月 10 日
13	川原町会	令和 2 年 2 月 17 日
14	日吉東部町会	令和 2 年 2 月 21 日

No	町会名	実施日
15	函館市本通町会	令和 2 年 7 月 1 日
16	谷地頭町会	令和 2 年 7 月 7 日
17	恵山町内会	令和 2 年 7 月 14 日
18	日ノ浜町内会	
19	尾札部町内会	令和 2 年 7 月 28 日
20	深堀町会	令和 2 年 8 月 4 日
21	亀田本町第一町会	令和 2 年 8 月 12 日
22	亀田本町第二町会	
23	亀田本町第五町会	
24	楳法華町会	令和 2 年 9 月 1 日
25	万代町会	令和 2 年 9 月 8 日
26	山の手町会	令和 2 年 10 月 9 日
27	美原町会	令和 2 年 10 月 19 日

(2) 主な意見等

【運営するうえでの課題】

- ・役員や班長のなり手不足
- ・脱会者の増加（子どもが大きくなると脱会する場合があるなど）
- ・勧誘に関する負担（共働き世代が増え、日中会うことが難しいなど）
- ・集金業務の負担
- ・役員の民生委員などの兼務による負担増
- ・情報不足（新入学児童お祝いの対象者の把握が難しいなど）
- ・活動参加者の固定化・減少
- ・財源不足（活動に対する報酬を出したいなど） など

【工夫していること】

- ・町会アプリやSNSの活用
- ・若手の登用（青少年育成部に学生を登用するなど）
- ・町会館をサロンとして開放
- ・コミュニティ・スクールと連携した活動（七夕まつりなど）
- ・地域内企業と防災協定を締結
- ・転入後2～3ヶ月以内の勧誘実施
- ・新規加入者への特典
- ・町会便りの配布を外注
- ・集金人を雇用
- ・町会費を振込に変更
- ・街灯費のみを徴収する制度の実施
- ・女性を中心にした活動
- ・班長のなり手不足のため班の統合を実施 など

【市に望む事項】

- ・町会活動の市民へのPR強化
- ・市職員やOBの町会活動への参加
- ・依頼業務の減（国勢調査員の推薦等）
- ・各町会に共通する項目の基準づくり など

【町会費の公平負担に対する考え】

- ・一部の住民により公共的活動を負担しているような状況の解消
- ・集金業務の負担軽減
- ・活動に義務が生じる可能性があり町会の自主性が低下
- ・町会員としての自覚の低下および町会員の把握が困難 など

【今後の検討事項】

- ・活動内容の見直し
- ・事業部の統合
- ・他町会との町会館の共同管理
- ・他町会と連携した活動
- ・将来的には町会同士の合併 など

4 函館市町会活性化検討会議

(1) 概 要

- 目的：町会活性化に向けた方策などを検討するにあたり、広く関係者の意見を反映させるため。
- 設置期間：令和元年（2019年）8月から令和3年（2021年）3月
- 議事内容：会議資料および会議録は、市HPの下記URLを参照
 《URL》 <https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2019103000037/>

(2) 委員名簿（五十音順・敬称略）

令和2年(2020年)8月17日現在

氏 名	役 職 等	備考
大矢 千穂	函館市地域交流まちづくりセンター 副センター長	
纒坂 麻規子	一般財団法人北海道国際交流センター 日本語教育専任コーディネーター	
形部 啓子	函館市町会連合会東央地区協議会（日吉東部町会 副会長）	
神田 克実	函館市PTA連合会 副会長	
菊池 幸恵	独立行政法人国立高等専門学校機構 函館工業高等専門学校 准教授	座長
酒井 道子	函館市立五稜郭中学校学校運営協議会 委員	
笹谷 邦子	第一生命保険株式会社函館支社 営業推進グループ 課長	
佐藤 研	公立はこだて未来大学 学生	
竹内 優之	公益社団法人北海道宅地建物取引業協会函館支部 苦情処理・研修委員会 委員長	
常野 剛永	函館市地域包括支援センター連絡協議会 副会長(函館市地域包括支援センター 亀田 所長)	
永澤 和枝	函館市町会連合会中央地区協議会（万代町会 会長）	
中山 一郎	函館市町会連合会西部地区協議会（大手町会 青少年育成部長代行）	
西谷 小百合	社会福祉法人函館市社会福祉協議会 事業課長	
浜田 克巳	函館市町会連合会東部地区協議会（日ノ浜町内会 会長）	
平形 知行	公募	
森田 拓也	公募	
山田 麻由美	函館市町会連合会北部地区協議会（鍛冶町会 事務員）	
若林 里奈	国立大学法人北海道教育大学函館校 学生	

(3) 会議内容

回数	開催日	議題
第1回	令和元年（2019年） 11月11日（月）	【議事】 (1) 函館市町会活性化検討会議設置要綱について (2) 座長の選任について (3) 函館市町会活性化検討会議の概要について (4) 町会の現状，課題，活動への支援および町会の担うべき役割やあり方について
第2回	令和2年（2020年） 1月29日（水）	【議事】 (1) 町会活性化のために必要な取り組みについて
第3回	令和2年（2020年） 8月27日（木）	【議事】 (1) 座長の選任について (2) これまでの検討会議による意見のとりまとめおよび取り組みの方向性について (3) 今後の会議の進め方について
第4回	令和2年（2020年） 9月29日（火）	【報告】 (1) 第3回検討会議の確認について 【議事】 (1) 具体の取り組み（手法）の検討について
第5回	令和2年（2020年） 10月26日（月）	【報告】 (1) 町会ヒアリングの結果について 【議事】 (1) 具体の取り組み（手法）の検討について
第6回	令和3年（2021年） 2月3日（水）	【議事】 (1) 「（仮称）町会活性化に向けた基本的な方向性（原案）」について

(4) 函館市町会活性化検討会議設置要綱

(設置)

第1条 町会活性化に向けた方策などを検討するにあたり，広く関係者の意見を反映させるため，「函館市町会活性化検討会議（以下「会議」という。）」を設置する。

(組織)

第2条 会議は，委員18人以内をもって構成する。

2 委員は，次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

(1)町会関係者

(2)福祉団体関係者

(3)まちづくり団体関係者

(4)教育関係者

(5)公募による者

(6)その他市長が必要と認める者

3 会議にオブザーバーを置き，必要に応じて意見，助言等を求めることができる。

(任期)

第3条 委員の任期は，1年とする。ただし，令和元年度に委嘱する場合の委員の任期については，令和2年3月31日までとする。

2 委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は，前任者の残任期間とする。

3 委員の再任は，妨げないものとする。

(座長)

第4条 会議に座長を置く。

2 座長は，委員の互選により定める。

3 座長は，会務を総理し，会議を代表する。

4 座長に事故等があるときは，あらかじめ座長の指名する委員がその職務を代行する。

(会議)

第5条 会議は，座長が招集する。

2 座長は，会議の議長となる。

3 座長は，必要があると認めたときは，委員以外の者の出席を求め，意見を聴取することができる。

4 第1項の規定にかかわらず，市長は，必要に応じ，委員を招集し会議を開くことができる。

(庶務)

第6条 会議の庶務は，市民部において処理する。

(謝礼)

第7条 委員が会議に出席したときは，予算の範囲内で謝礼を支給する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか，会議の運営に関し必要な事項は，座長が会議に諮って定める。

附 則

この要綱は，令和元年8月14日から施行する。

5 函館市町会活性化セミナー

(1) 概要

- 目的：町会の必要性について市民が理解を深め、町会の抱える課題の解決策について、市民がともに考える機会とするため。
- 開催日時：令和2年(2020年)11月29日(日)13:30～
- 会場：函館市民会館 小ホール
- 講師：株式会社 GLOCAL DESIGN (グローバルデザイン) 代表取締役 酒本 宏
- 開催方法：講師が札幌市からリモート出演
- 参加者数：87名

(2) 内容

(ア) 講演「これからの町会活性化のヒント」

a) 町会の現状と必要性・価値

- 地域コミュニティの中心となる町会の現状
- 町会の活動は暮らしを支える見えない社会インフラ
- 地域コミュニティを支える町会活動の価値

b) コロナで変わる町会の役割

- コロナ禍の町会の状況
- コロナで変わる暮らし
- コロナで変わる暮らしを町会の活性化のチャンスに変える
- アフターコロナの町会の大切な役割(考慮すべきこと)

c) 町会の担い手不足対応のヒント

- 町会の担い手不足の主な要因

d) 担い手不足に対して何から始める

- 地域のニーズを把握することから始める(アンケートなど)
- アンケートで人材発掘した町会の事例

e) これからの運営のヒント

- どこまでやるか・できるか町会活動
- 町会同士の連携
- 多様な主体と連携した地域コミュニティの運営

(イ) ワークショップ

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、参加者は、付箋で町会についての質問や意見を書き出し、それに対して講師が講話する形式で実施。

※ 講演内容等の当日配布資料は、市HPの下記URLを参照

《URL》 <https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2021010500098/>

6 町会活性化ディスカッション

(1) 概要

- 目的：若い世代同士が活発および率直に町会活性化についての意見やアイデアを話し合い、今後の町会活性化の施策の参考とするため。
- 日時：令和2年(2020年)11月10日(火) 15:30～
- 参加者：5名(西部地区に住む若い世代や市内の大学生が参加)

(2) 主な意見

【町会活動のイメージ】

- ・防犯パトロールなど住民の安全を守る活動や花壇の整備や清掃活動といった環境美化活動を行っている。
- ・お祭りや子ども会といったイベントなど住民交流の場となっている。

【町会の必要性】

- ・まちの安全や安心のための活動や住民同士の交流を行う団体であり、町会が無くなってしまうと、防犯機能が低下し、住みにくいまちとなる。また、特に災害時には、住民同士の助け合いが必要となり、人と人のつながりを築くために重要な役割を持っている。

【若者の加入意識】

- ・勧誘時に町会加入メリットを考えてしまうが、町会の必要性が理解できれば加入したいと考える。
- ・町会が行っている活動は、子どもから高齢者まで地域全体が恩恵を受ける活動なので、加入するのは当たり前と考える。

【町会に求めること】

- ・顔の見える関係性により、誰が住んでいるのかわかる安心感が欲しい。
- ・災害に頼りになる防災活動が行われる。

【若い世代の関わりを増やすためには】

- ・地元しか知らない、地域の有益な情報源となる。
- ・自分からは町会に行きづらいので、人手募集の直接的な声掛けがあれば関わりやすい。
- ・有償ボランティアといった、軽いアルバイト感覚で町会に関わっていく。
- ・町会館を使って自由に若い世代のやりたいことが実現できる場所になる。
- ・自分にとって成長する場所との認識ができれば関心が増える。

7 町会一覧

番号	町会名
1	入舟町会
2	船見町第一町会
3	第二船見町会
4	弥生町会
5	天神町会
6	弁天町会
7	大町町会
8	末広町会
9	元町町会
10	青柳町会
11	谷地頭町会
12	住吉町会
13	宝来町会
14	東川町会
15	豊川町会
16	大手町会
17	栄町会
18	旭町会
19	東雲町会
20	大森町会
21	松風町会
22	若松町会
23	千歳町会
24	新川町会
25	上新川町会
26	海岸町内会
27	大縄町会
28	松川町会
29	万代町会
30	北浜町会
31	港町会
32	港町北部町会
33	追分町会
34	亀田町民会
35	大川町会
36	道営大川団地自治会
37	田家町会
38	白鳥町会
39	八幡町会
40	宮前町会
41	中島町会
42	千代台町会
43	堀川町会
44	高盛町会
45	宇賀浦町会
46	函館市日乃出町会
47	的場町会
48	金堀広野町会
49	函館少年刑務所宿舎町会
50	時任町会
51	杉並町会
52	本町会
53	梁川町会
54	五稜郭町会
55	柳町町会
56	函館市松陰町会
57	人見町会
58	人見南町会
59	乃木町会
60	柏木町会

番号	町会名
61	川原町親和会
62	川原町会
63	日乃出改良団地自治会
64	深堀町会
65	東深堀町会
66	深駒町会
67	駒場自治町会
68	駒場団地町会
69	広野北部町会
70	湯浜町会
71	函館市湯川町1丁目町会
72	湯川町2丁目町会
73	湯川三丁目町会
74	湯川温泉町会
75	戸倉ヶ丘町会
76	榎本町会
77	香雪団地自治会
78	見晴町会
79	滝晴町会
80	上野町会
81	高丘町会
82	高丘団地自治会
83	鈴蘭丘町会
84	花園町会
85	函館市日吉ヶ丘町会
86	はるか台自治会
87	日吉町第六団地自治会
88	日吉南団地自治会
89	日吉東部町会
90	日吉町会
91	日吉町北栄会
92	日吉親互会
93	日吉北団地会
94	日吉第八団地自治会
95	日吉四丁目町会
96	日吉自由ヶ丘自治会
97	上湯川町会
98	上湯川団地町会
99	旭岡町会
100	西旭岡町会
101	西旭岡市営自治会
102	鱒川町会
103	亀尾町会
104	蛾眉野町会
105	根崎町会
106	高松町会
107	高松町親交会
108	高根西部町会
109	空港団地町会
110	志海苔町会
111	三協町会
112	銭亀町会
113	望洋団地自治会
114	新湊町会
115	古川町会
116	豊原町会
117	石崎町会
118	鶴野町会
119	ガーデンヒル自治会
120	東富岡町会

番号	町会名
121	函館市富岡町一丁目町会
122	昭和町会
123	中道一丁目町会
124	中道第二町会
125	函館市本通町会
126	南本通町会
127	本通中央町会
128	鍛冶町会
129	神山町会
130	陣川みどり町会
131	陣川あさひ町会
132	美原町会
133	函館市赤川町会
134	北美原町会
135	石川町会
136	函館市桔梗町会
137	桔梗北町会
138	桔梗西部町会
139	亀田本町第一町会
140	亀田本町第二町会
141	亀田本町第四町会
142	亀田本町第五町会
143	函館市亀田港町会
144	山の手町会
145	山の手2丁目中央町会
146	ひばりが丘町会
147	函館市東山町会
148	ニュー東山町会
149	東山見晴台団地町会
150	小安町会
151	釜谷町会
152	汐首町内会
153	瀬田来町内会
154	弁才町町内会
155	泊町町内会
156	館町町内会
157	西浜町会
158	東浜町内会
159	原本二見町会
160	日浦町内会
161	尻岸内町内会
162	中浜町内会
163	女那川町内会
164	日ノ浜町内会
165	古武井町内会
166	恵山町内会
167	御崎町内会
168	榎法華町会
169	新浜町二町内会
170	銚子町内会
171	古部町内会
172	木直町内会
173	尾札部町内会
174	川汲町内会
175	安浦町内会
176	臼尻町内会
177	大船町内会
178	磯谷町内会